

## 本書を推薦します

大正大学名誉教授

福田亮成

本書は、平安期を中心とした真言密教の教理・思想と信仰の問題を、歴史的背景の中で解明することを目指したもので、真言宗学研究の領域に、仏教文献学的手法とともに、歴史学、国語・国文学、あるいは美術史学などの研究成果を充分に参照し、活用し、従来の仏教学・真言宗学の枠を越えた学際的な研究となつており、これからも仏教学・宗学のあるべき姿を示す独創的な研究成果であると言つてよい。

本書は、大きく二部に分けられる。その第一部は、初期真言密教教学の形成、第二部は、平安期の真言密教と密教淨土教、となつてゐる。第一部は、空海教学の研究を起点として、初期台密教学にいたる、事相文献を含めた研究である。第一部は、覺鑑教学の研究を起点として、院政期の真言密教の動向、取り分け密教淨土教という着想をふまえて、新資料の調査、発見にもとづく翻刻論文をはじめて、歴史学や国語・国文学、さらには美術史学等の成果を充分に取り入れ、新分野を開拓した。

苦米地誠一 とまべち・せいいち 略歴

昭和 53 年 3 月、大正大学仏教学部仏教学科真言学専攻卒業、昭和 58 年 3 月、同大学院文学研究科博士課程仏教学専攻満期退学、種智院大学助教授・智山伝法院教授を歴任

現在：大正大学准教授、博士（仏教学）著作・論文：『興教大師覺鑑聖人年譜』（単著、平成 14 年 12 月、ノンブル社）、『六巻本『金剛頂瑜伽中略出念誦法』の研究—慈覚大師将来本 校訂訳註篇』（共著、平成 11 年 3 月、ノンブル社）、『興教大師覺鑑の著作とその聖教としての伝承』（名古屋大学 21 世紀 COE プログラム「統合テクスト科学の構築」第 1 回国際研究集会報告書「中世宗教テクストの世界へ」平成 15 年 3 月）、『東寺觀智院所蔵『勸修寺長吏并当寺別當任東寺長者次第』翻刻』（小野塚幾澄博士古稀記念論文集『空海の思想と文化』平成 16 年 2 月、ノンブル社）、『高野山往生伝』の成立について—高野山大伝法院方との関係をめぐって（速水侑編『奈良・平安仏教の展開』平成 18 年 8 月、吉川弘文館）、『平安期における六道観の一側面—真言密教の視点から』（仏教美術研究 上野記念財団助成研究会報告書 第 34 冊、研究発表と座談会、『六道の思想と美術』平成 19 年 3 月）ほか

◆好評既刊◆

苦米地誠一著

『興教大師覺鑑聖人年譜』（上・下）



A4 判・並製・函入 定価(セット)：29,400 円(税込み)

上巻：[白河院政期] 応徳 3 (1086) 年—大治 3 (1128) 年  
下巻：[鳥羽院政期] 大治 4 (1129) 年—保元元 (1156) 年

これまでの覺鑑伝研究を再検討。A4 判のスペースに、著者が十数年をついやして集約した資料が満載。覺鑑研究に欠かせない必備の一冊。

できるかぎり正確に年月日を確定し、各項目ごとに典拠資料名を全て掲載。複数項目にわたる事項を各欄に併記し、各項目が独立した年表となるように工夫し、あくまで使いやすさに重点をおいて編集。

◆ご注文や出版に関するお問合せは下記へお願ひいたします

図書出版 株 ノンブル社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-8-22-2F  
Tel. 03 (3203) 3357 Fax. 03 (3203) 2156



A5 判・上製  
布クロス装・貼函入  
セット価格：50,400 円(税込)

第二部 平安期の真言教学と密教淨土教  
院政期を中心として復興された真言教学に注目し、数人の重要な人物の教學と、その当時の  
信仰の中で大きな位置を占めた淨土往生信仰に関わる密教淨土教の問題を扱う

空海教学を中心にして、平安初期に日本に於て成立した真言密教の教學を教主論と成仏論を中心とし、また三昧耶戒授戒作法の成立と展開の問題について検討する

重版出来！

総頁 2,400 ページ  
第一部 1,120 ページ  
第二部 1,280 ページ

ノンブル社